

地方創生推進交付金に係る事業実施結果

(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No.	交付対象事業の名称	事業内容	事業費 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)		本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標内容	指標値 (増加分)	実績値 (増加分)	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	一斗 二升 五合 塩プロモーション事業 ～ご商売益々繁盛の縁プロモーション事業～ <しおブランド化推進事業> <観光アクションプログラム策定事業>	<p>・宴席で乾杯する際に、塩と枅を使って乾杯するという新しいお酒の呑み方の普及により塩と枅の販路を拡大させ、地場産業の活性化を図るため、様々なPRに取り組む。そのPR媒体として、口からこぼれない枅、塩を縁に盛ることができる枅を新たに開発する。</p> <p>・赤穂塩と新しく開発した枅のセットを、乾杯条例制定自治体や忠臣蔵サミット参加加盟市区町に配布し、赤穂市、大垣市の地場産業のPRを全国展開することで競争力の強化を図る。また、市内の旅館や飲食店への啓発を行う。</p> <p>・新たな観光アクションプログラムの策定を機に、これまで十分とは言えなかった本市の観光にかかる状況を、ビッグデータ等により把握、分析し、そのうえで、本市の状況を、ワークショップ等において地域や各種団体、行政内各部署に示すことで、何が必要であるかの共通認識の形成に注力する。当事業をDMO設立に向けた取り組みのスタートとする。</p>	8,608,614	<p>・塩関連事業による塩活用商品の販売額</p> <p>・配布した塩と枅のセットを日本酒関連PRに活用した自治体数</p> <p>・宿泊者数</p> <p>・観光アクションプログラム策定にかかるワークショップ等への移住者、市外在住者の参加者数</p>	<p>850 千円</p> <p>20 団体</p> <p>10 千人</p> <p>10 人</p>	<p>187 千円</p> <p>9 団体</p> <p>0 千人 (※45千人減)</p> <p>17 人</p>	<p>地方創生に効果があった</p> <p>※平成30年度は、様々な要因が重なり、KPIの達成に至らなかったが、令和元年度以降は、PR活動を中心に取り組んでいくことで、KPIの達成を目指す。</p> <p>※施設修繕の為、半年間つげもの生産休止により販売が伸びなかった。1宿泊施設のリニューアル工事により、1年間営業できなかったことや、災害等により客足が遠のいたことで、宿泊者数が伸びなかった。枅の開発が当初予定していた時期より遅れたため、PR期間が短くなった。</p>	<p>総合戦略のKPI達成に有効であった</p>	<p>・枅を使って乾杯ということで塩をPRするのであれば、もっと徹底してPRするように努められたい。</p> <p>・観光客、市民のニーズをしっかりと押さえてもらいたい。</p> <p>・塩と枅のストーリーをしっかりとした物にして、PRするように努められたい。</p>	<p>事業の継続</p>	<p>・策定した観光アクションプログラムに基づいて、情報発信、観光資源のブラッシュアップ、インバウンド、交流人口の拡大など、KPIの達成に向けて取り組んでいく。</p> <p>・物産展、イベント等に積極的に参加し、塩と枅のセットで赤穂の塩のPR、また赤穂の塩を活かしたグルメメニューのPRなどに取り組んでいく。</p>

<凡例>事業効果

①地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果がみられたとみなせる場合
②地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④地方創生に効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合